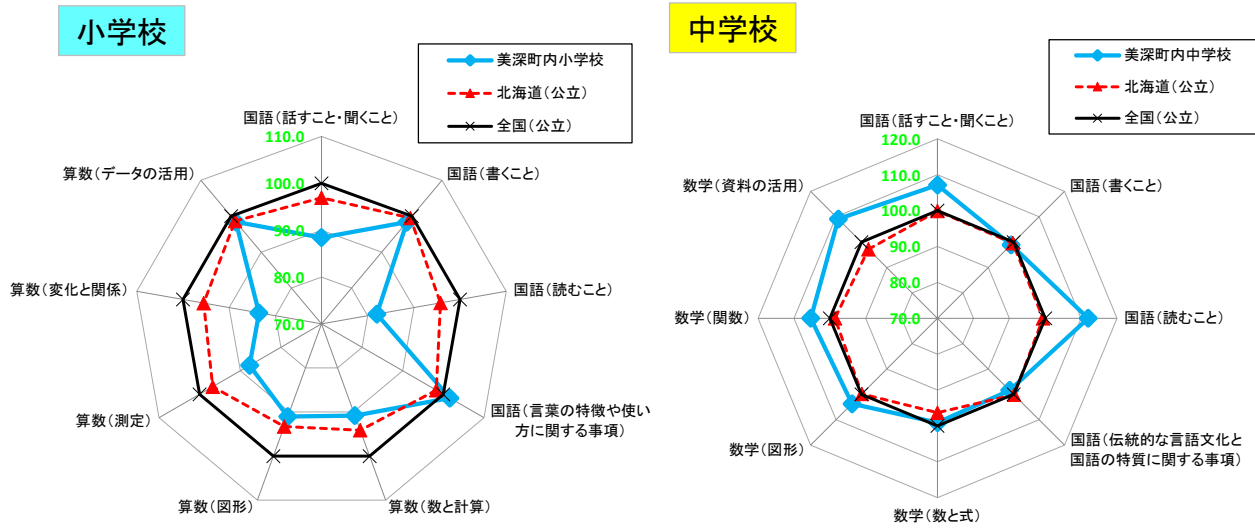


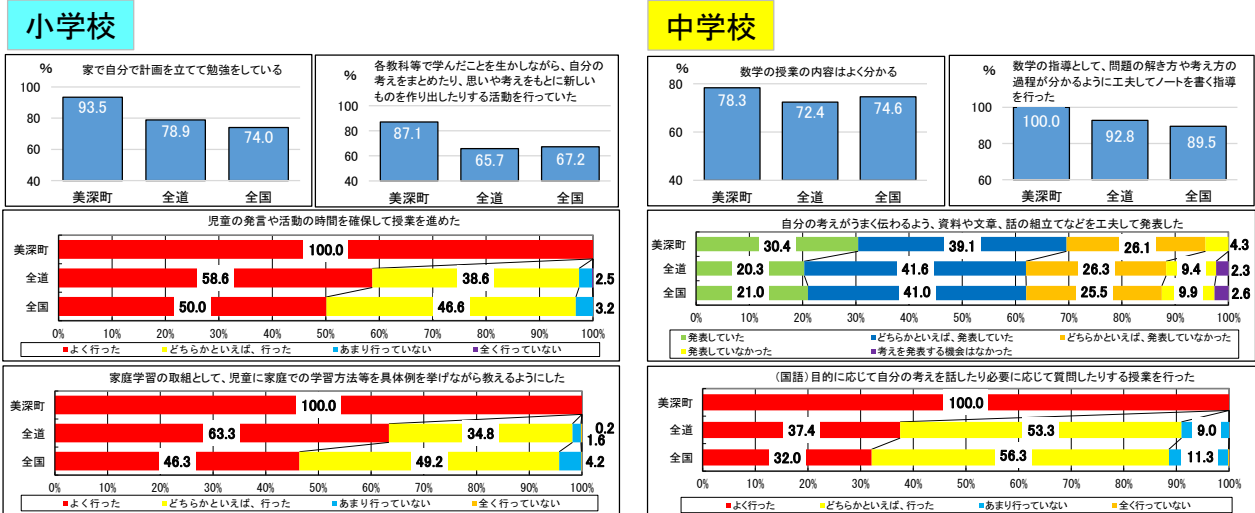
■美深町内の状況及び学力向上策（小学校数:2校、児童数:31人）（中学校数:2校、生徒数:23人）

【教科全体の状況】

教科の領域等別に全国を100とした場合の全道及び市町村の状況をレーダーチャートで示したものを（市町村の平均正答率÷全国（公立）の平均正答率×100で算出）



【質問紙の状況】



【上記結果の考えられる要因の分析】

小学校	中学校
町内の各学校において、児童の発言や活動の時間を確保して授業を進めたことにより、各教科などで学んだことを生かしながら、自分の考えをまとめたり、思いや考えをもとに新しいものを作り出したりする活動を行っていたと回答した児童の割合が全国を上回ったと考えられる。	国語の学習において、目的に応じて自分の考えを話したり必要に応じて質問したりする授業を行ったことにより、自分の考えがうまく伝わるよう、資料や文章、話の組立てなどを工夫して発表した生徒の割合が全国を上回ったと考えられる。
町内の各学校において、家庭学習の取組として、児童に家庭での学習方法を具体例を挙げながら教えるようにしたことにより、家で自分で計画を立てて学習している児童の割合が全国を上回ったと考えられる。	町内の各学校において、数学の指導として、問題の解き方や考え方の過程が分かるように工夫してノートを書く指導を行ったことにより、数学の授業の内容がよく分かるようになり、ほとんどの領域で全国を上回ったと考えられる。

【美深町の学力向上策】

- ◎ 学校運営協議会を通じ、地域の声を生かした教育活動の推進
- ◎ 習熟度別指導やチーム・ティーチング、更にはリーディングスキルテストを活用した指導及び学力向上の推進
- ◎ ALT等の人材活用による外国語教育の推進
- ◎ 1人1台端末を活用した児童生徒に合わせた効果的な学習の推進